



I. 前回 (R1/12/6 開催) 調査・研究部会全体会議議事録の確認

(資料-1-5.0, pp.1-5)

II. 全体関係

[審議事項]

[報告事項]

III. 研究・連携・情報委員会

[審議事項]

5. 研究委員会関係

1) 委員の交代

横浜環状北線地盤変動監視委員会

有田 幸司 氏 (国立研究開発法人土木研究所 技術推進本部 部長) → 岩見 吉輝 氏 (同左)

※所属辞職による交代

→会員か否かを確認するためメール審議とした。

6. シンポジウム関係

1) 第 62 回地盤工学シンポジウム (2020/12/18)

(資料-1-5.1, pp.6-13)

テーマ: 地盤工学におけるデータの品質と信頼性, その有効利活用

①オンライン開催の可否

→オンライン開催は今後の運営のやり方となるので問題ないのでは? サテライトの会場との併用では混乱する。

→今年度はしょうがないが, 教育的な側面では学生に研究者は対面で議論する姿を見せるのは重要であるので, 来年度以降は再考するべき。

→応用力学シンポと同様に Zoom を使用したオンライン開催を考えているが, 会社で Zoom の使用を禁止している問題にどのように対応するのか? その他のソフトウェアは, 国交省, NEXCO, JR は使用を禁止しているようである。

※オンライン開催を基本に, どのシステムを使用するか情報を収集し, 検討する。まとめ次第, メール審議。

②スケジュール

日程は, 当初の 11/27 から 12/18 に変更。特別講演の講演者へは確認済。

・アナウンスはいつになるか?

→本部 7/20 理事会で確認後となる。

・査読はどうするか?

→ここ数回は査読を行わず, フォーマットチェックのみである。地盤工学ジャーナルとの差別化を図るために, 査読という言葉は使用しないで, 案内をする。

③特別講演の時間割

・講演 40 分+質疑 15~20 分=60 分/人: 講演者 2 名で考えている。

→講師に確認して調整する。

④参加費について

・オンラインで開催するが, 参加費は昨年同様とするか?

→オンライン開催なので, なぜ参加費が同じなのか? 質問が来るのでは?

→2000 円程度の割引を考えてはどうか?

→応用力学シンポでは, 聴講のみの参加者は無料にした。その結果, 他学会からの参加者もあった。

→事前に講演の URL を発信するなら, グループ参加の料金を設定しても良いのでは?

→オンラインの場合, スポット参加が可能なので, スポンサーバナーなどで収入を得るのも良いのでは?

(その結果, 価値があれば参加者は多くなる)

○学会では, 会費の徴収は Must。

※他学会の参加費についての情報を収集して, メール審議する。

⑤その他

・運営の負担を考え, 無理のない運営を心掛けるべき。

・今後の JGS の開催方法の例となる。

・オンライン開催の場合の CPD の運用は?

- 現状では、参加申し込みを行えば、CPDを付与しているが、実際と異なる場合の取り扱いを考えるべき。
- 他のオンライン開催では、休憩時間にパスワードを公開して、CPDを付与した例もある。

## 7. 情報関係

[報告事項]

### 8. 研究委員会関係

#### 1) 研究委員会活動状況報告

(資料-1-5.2, p.14)

橋本部長：次世代地盤改良技術に関する研究委員会（前年度で終了）

→5月一杯で終了している。昨年度は3回開催した。成果は、手引きをまとめて12月までにHPにアップする予定である→今後の対応は、再度相談があるとのこと。

山田部長：地盤環境汚染対策の科学的合理性判定のための調査・試験・評価法に関する研究委員会

→5/15 オンラインで幹事会、5/25にオンラインで全体会議を実施し、京都大会のDSオンライン化の対応について審議。6/22に再度全体会議を行う予定。現在議事録を作成中であるので、でき次第入手して状況を把握する。

中井部長：未曾有の豪雨により複合化した土砂・水災害に遭遇する時代に突入した地盤技術の今後と社会的な方策に関する研究委員会

→10月末に委員会を開催し、方針及びグループ分けを行った。2/4にオンライン会議併用で、グループ割の方針を決定。現在メール審議を行っている。

#### 2) 第33回環境工学連合講演会（2020/5/19、日本学術会議講堂）→開催延期（開催日未定）

→現在も開催日は未定。

### 9. シンポジウム関係

#### 10. 情報関係

##### 1) 図書室整理(橋本部長)

→3月一杯で学生アルバイトによるJGS出版図書の登録は完了した。今年度も引き続き同じ方にラベル付け等の作業をお願いしたいと考えている。状況を見る必要があるが、夏休み期間を利用するなど考えている。

## IV. 研究発表委員会

[審議事項]

### 1. 第55回地盤工学研究発表会（京都大会）オンライン開催

#### 1) 第55回研究発表会中止対応WGメンバー

WGリーダー 高橋直樹（調査研究部長）

WG幹事 高野大樹（調査研究部幹事長）

WGメンバー 笠間清伸（調査研究部員、研究発表会委員長）

WGメンバー 高井敦史（調査研究部員、研究発表会委員）

WGメンバー 上田恭平（調査研究部員、～8/31）

WGメンバー 澤村康生（調査研究部員、～8/31）

WGメンバー 藤澤和謙（総務部員、広報委員長）：DS、Zoom等WEB会議ツール

WGメンバー 岸田潔（総務部長）：全体

事務局 長尾美咲

#### 2) 準備状況とスケジュール

(資料-1-5.3, pp.15-27)

→6/1にプログラムを公開した。大会プログラムHPに参加者限定機能を付ける。参加者限定機能の中にコメント機能があるため、それを使ってQ&Aを作成することを考えている。動画配信もYoutubeを使用して行う。

→バナー広告は16社。オンライン配信コンテンツはZoomを使用して行う。DS9セッションを3日間で行う。

[報告・確認事項]

- ・現在の参加者数は？→Confitsでまだ確認できないが、今後確認する。
- ・今回のオンライン開催の情報を共有したい。→シンポジウムにも反映したい。
- ・DSのオンラインマニュアルは送ってもいいのか？→現在確認中。
- ・Zoomでの開催は初めてなので不安がある。

→応用力学シンポでは、ホストがいて座長に権限を与えて運用していた。そのため座長への負担は減るが、ホストが

複数台のPCを使用してコントロールした経緯があるので、応用力学シンポの例を参考に情報共有していく。

## V. その他

### 1 4. 理事会報告

→7/20にシンポジウムの件を報告するので、その後はメール審議で進めていく。

令和元年12月20日（書面会議）

#### 【審議事項】

なし

#### 【報告事項】

##### 1. 委員の追加

1) 「地盤環境汚染対策の科学的合理性判定のための調査・試験・評価法に関する研究委員会」

木下 久美子 氏 ((株)環境材料エンジニアリング) ※JGS会員

2) 「未曾有の豪雨により複合化した土砂・水災害に遭遇する時代に突入した地盤技術の今後と社会的な方策に関する研究委員会」

2. 第33回環境工学連合講演会（2020/5/19、日本学術会議講堂）講演者の推薦

乾 徹 氏 (大阪大学 工学研究科)

3. 第55回地盤工学研究発表会（京都大会）準備状況報告

令和2年1月24日

#### 【審議事項】

なし

#### 【報告事項】

1. 第55回地盤工学研究発表会（京都大会）準備状況

1) 2020年京都大会 代表幹事会 京都大学：2019年12月25日（水）

2) プログラム大分類の改定

①“地盤環境”を無くし、その中の中分類を他の大分類へ振り分ける。

②技術報告（調査・設計・施工）の追加

3) 第55回地盤工学研究発表会《論文募集要領》公開：2019年12月27日（金）

4) Confit 本番サイトの確認：2020年1月22（水）～1月28日（火）

5) 発表申込および投稿：2020年2月1日（土）～3月8日（日）

2. Kansai Geo-Symposiumの開催

開催予定日：2020年11月27日（金）

\*予算および会場の都合により、第62回地盤工学シンポジウムと同日に開催予定。

令和2年2月21日（書面会議）

#### 【審議事項】

1. 第55回地盤工学研究発表会実行委員会委員長の交代

三村 衛 委員長（京都大学） → 木村 亮 氏（同左）

#### 【報告事項】

1. 第55回地盤工学研究発表会（京都大会）準備状況

1) 2/15～発表申込み受付開始

2) 企業展示コーナーの申込み状況

・申込数：89ブース

・地盤品質判定士協会への1ブース無料提供

2. 70周年記念事業

・過去の委員会の変遷をまとめて調査・研究部webページに掲示

3. 第62回地盤工学シンポジウム 日程変更

11月27日（金） → 12月18日（金）

令和2年3月13日

【審議事項】

1. 第55回地盤工学研究発表会（京都大会）：コロナウイルスの影響（別紙あり）
  - 1) 開催中止の判断時期
    - ・開催日の3ヶ月前（4/19）を過ぎると会場使用料の全額（約1062万円）を支払う必要がある（現時点でのキャンセルはその50%）
  - 2) 一般参加申込み・交流会申込み開始時期の延期
    - ・当初の予定：4/1
2. 第55回地盤工学研究発表会（京都大会）実行委員会委員の交代  
杉中 洋一 委員（国土交通省 近畿地方整備局港湾空港部長）→ 安部 賢 氏（同左）理由：異動による  
※JGS非会員のため招請委員

【報告事項】

なし

令和2年4月27日

【審議事項】

1. 新部員
  - ・上田恭平（京都大学防災研究所）令和2年8月31日まで
  - ・澤村康生（京都大学工学研究科）令和2年8月31日まで
2. 第55回研究発表会中止対応WGの設置（令和2年8月31日まで）  
第55回研究発表会中止対応に対するWGを設置し、対応の検討・実施を行う。メンバーは以下の通り。  
WGリーダー 高橋直樹（調査研究部長）  
WG幹事 高野大樹（調査研究部幹事）  
WGメンバー 笠間清伸（調査研究部員，研究発表会委員長）  
WGメンバー 高井敦史（調査研究部員，研究発表会委員）  
WGメンバー 上田恭平（調査研究部員）  
WGメンバー 澤村康生（調査研究部員）  
WGメンバー 藤澤和謙（総務部員，広報委員長）  
WGメンバー 岸田潔（総務部長）

【報告事項】

なし

15. 理事会（令和2年7月20日（月））開催への審議事項・報告事項

[予備審議事項]

[審議事項]

[報告事項]

16. 総務部会（令和2年7月7日（火）開催予定）への提案事項

★ 令和2年度 調査・研究部会 開催日程（案）（予定含む、WEB会議を基本とする）

- ① 7月8日（水）←16:00～の開催予定。
- ② 9月9日（水）
- ③ 11月11日（水）
- ④ 1月13日（水）
- ⑤ 5月12日（水）

★ 令和2年度 理事会 開催日程（予定含む）

- ① 4月17日（金） ※書面審議
- ② 5月15日（金）

★ 6月5日(金) 総会/理事会

③ 7月20日(月)

④ 9月25日(金)

⑤ 11月26日(木)

⑥ 12月18日(金) ※書面審議

⑦ 1月22日(金)

⑧ 2月19日(金) ※書面審議

⑨ 3月19日(金)

-----  
⑩ 5月21日(金) ※書面審議

★ 6月4日(金) 総会/理事会